

県議員 奥村のり子 の
読者ニュース

2016年8月21日 第229号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



古の人々から何を学ぶか
気づかされました

残暑お見舞い申し上げます。先々週から自治体学校についてのお話をさせていただいていますが、今週は3日目最終日の全体会の模様についてお伝えします。特別講演があり、愛知大 学地域政策学部教授の西堀 喜久夫氏から「事前復興」の視点から地域連携・受援の問題を通して自然災害からの復興のあり方を考えるというものでした。氏は「人間社会は、自然災害を避けるために自然を理解し、人間社会の能力を超える自然の変動に対して災害とならないよう共生の工夫をし、防災技術を発達させ、自然の変動を制御して来た」と述べました。また、「東日本大震災の被災地を見ていて気づくことは、神社のあるところは津波を避けることができているということ」といわれました。このことに着目した研究では沿岸域の神社で被害を避けることができたのは、215神社中75%であったということです。古の人々から何を学ぶのか気づかされました。もう一つは、「自治体の自律性を高める受援力を磨く」というお話でした。事前に支援を受ける体制を被災地が整えておくという考え方です。かつて紀南地方の豪雨災害時に医療ボランティアの派遣を県に働きかけた際受け入れが「困難」といわれたことにずーとひ

8・15終戦記念日ロアレス
稲田防衛相参拝なしのウラ事情

終戦記念日の翌日の日刊赤旗は、靖国神社に参拝した閣僚や、国会議員について詳報。アベ首相は参拝せず供え物の代わりとなる玉串料を総裁特別補佐が代理で納めました。この日全国戦没者追悼式で挨拶したアベ首相は、侵略戦争でアジア諸国への「加害」とそれへの「反省」は一切なし。同じ会場で天皇は「過去を顧み、深い反省とともに、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されないことを切に願いました。」

ウルトラ右翼の稲田朋美防衛相は毎年この日に靖国参拝だが今年はダメ。なぜか、アフリカ北東部ジブチの自衛隊基地を視察することが11日から12日にかけて急ぎよ決まったのです。記者団に「靖国参拝は？」と聞かれ「アベ内閣として適切に対処します」と涙声で答えた。自民党関係者は「ジブチ行きは稲田氏本人の知らない間に首相官邸が決めた。靖国参拝封じ「のため急ごしらえだから日程もスカスカだ」という声。自民党議員の一人は「中国や韓国、アメリカの批判が予想以上に強いことから、靖国参拝をやめさせなければならない。稲田氏に言い訳が立つようにするには、外国に行けなかったことにする」と…。まさに日本の侵略戦争を正当化する「靖国」史観と世界の流れとの深い矛盾です。なお日曜版8月14日号35面の稲田氏重大疑惑記事もどうぞ。(編集室)

自治体学校の
報告(3)

地方議員セミナーから

7月30日、保育研究所主催の、子ども・子育て支援新制度、自治体における保育行政の課題と題する地方議員セミナーを受講しました。子ども、子育て支援新制度導入後の政策的状況、新制度と学童保育(放課後児童クラブ)の現状と課題など4つの講義が行われました。

今回、セミナーを受講し、国が進める子ども子育て支援新制度の、子育て支援としての問題点や疑問点など再認識できました。私は、6月の議会でも子育て問題を取り上げましたが、和歌山市の進める保育行政が全国的な問題点と同様に多くの課題を持っています。公立園の認定こども園を含めた民営化について、阪南市が公立の7つの幼稚園・保育所を定員630名の1つの総合こども館に移行する例が挙げられていましたが、和歌山市でも11の認

保護者の希望を尊重した子育て支援を

定こども園へと統廃合する計画が進められています。こうした問題について、講師の逆井直紀保育研究所常務理事によれば、背景に公共施設等総合管理計画があると話します。公共施設最適化事業債の活用を見込んで財政負担の軽減という狙いがあるが、保育の充実という点でメリットが見えないとのこと。和歌山市と同様に、統廃合により保育所などの数が減れば、それだけ預け先が遠くなり、どこが子育て支援の充実なのか。この声が紹介されました。また、幼児教育の強化といっても何が変わるのかが不明確との事です。

また、待機児童問題の解消についても、規制緩和策が中心である事や、入所できれば良いという事ではなく保護者の希望を尊重する視点こそ子育て支援だとして、将来的な需要を見通す必要性などの問題点が指摘されました。和歌山市では待機児童はあまり問題とされていませんでしたが、今年4月1日時点で6人の待機児童があり、第一希望の施設に入所出来ない子どもが200人近くになっていて、市

として対策が求められている状況です。



党市議会議員
中村あさと

Route talk Relay talk Relay talk

- のり子の週刊日誌—主なもの—
- 8月19日 市駅前/吉宗像前宣伝、会議
 - 20日 市駅前夏祭り
 - 21日 民商定期総会
 - 22日 地域訪問 河西無料生活相談
 - 23日 会議
 - 24日 ティサービスボランティア
 - 25日 県議団勉強会、市駅前無料相談



8月15日終戦記念日街頭宣伝です。坂口多美子さん(左)南畑幸代市議(中)奥村(右)です。

(奥村のり子)